

11月度月例句会 会報・HP掲載句

十一月詠草

兼題：侘助、障子、当季雑詠

侘助のたたずむ葉陰仄明かり	佐藤 政百
侘助や座敷わらしに一枝を	安井 正浩
侘助を活ける少女のあつけらかん	城戸崎雅崇
枯れ色の破れ障子に猫の顔	生江沢五風
障子閉めお茶一杯の穏やかさ	大仲 正敏
眠気呼ぶ障子に踊る庭の木々	森 邦彦
ミステリー障子に映る人の影	川田 勝美
雁の列銀白夜空登り行く	中山 知祐
鯛焼屋手際に見とれ順を待つ	石原 克己
スプリンクラー無き首里城降れ秋の雨	眞田 宗興
	以上